

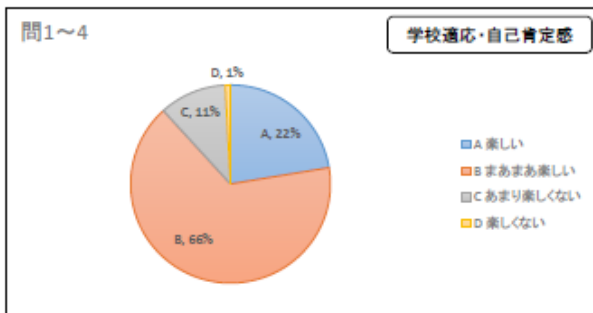
いじめ解決のための生活アンケート報告

平成25年度から始まった、全市一斉の取り組みです。「いじめ防止啓発月間」の12月にアンケートで実態把握を行い、トラブルに悩んでいたり不安を抱えていたりする生徒に適切な支援を行っていくものです。「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校への取り組みの一つです。

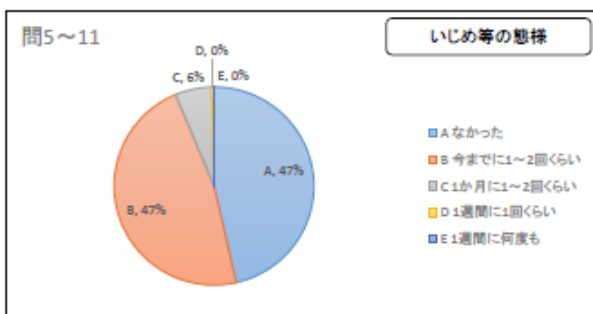
○アンケート質問項目

問 1	学校が楽しいですか？
問 2	みんなで何かをするのは楽しいですか？
問 3	授業に主体的に取り組んでいますか？（授業に自分から進んで参加していますか？）
問 4	授業がよくわかりますか？
問 5	からかわれたり、悪口やいやなことを言われたりすることがありましたか？
問 6	仲間はずれにされたり、無視されたりすることがありましたか？
問 7	遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりすることがありましたか？
問 8	友だちにお金をあげたり、食べ物をおごったりすることがありましたか？
問 9	持ち物やお金がなくなったり、こわされたりすることがありましたか？
問 10	いやなことや恥ずかしいことをさせられたり、されたりすることがありましたか？
問 11	メールやネット上のサイトなどに悪口を書かれたりすることがありましたか？
問 12	あなたのクラスに、困ったり悩んだりしている人やいじめられて苦しんでいる人はいませんか？

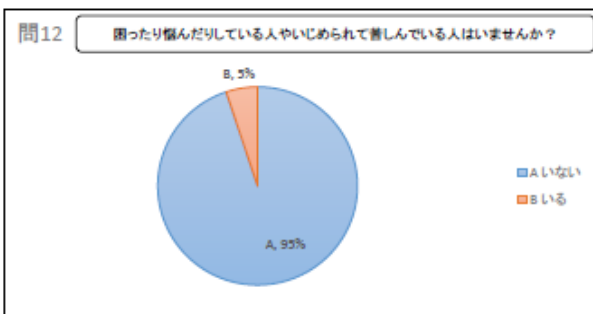
○結果と考察



学校適応・自己肯定感を示す問いでは『楽しい』『まあまあ楽しい』と答えた生徒が学校全体で88%を占め、9割近くの生徒が楽しく充実した学校生活を送っていることがわかりました。一方12%(約100人)は、楽しくない分類にありました。各学年では、1年生13%、2年生12%、3年生10%でした。コロナ禍での学校活動制限の不安が影響していると考えられます。



次に、いじめ等の態様を示す問いでは53%の生徒が過去にいじめや嫌がらせの被害にあっていることがわかりました。そのうちネット上での悪口が6%の生徒がいることがわかりました。また、クラスに困っている生徒がいるか、の問いに5%の生徒がいると答えています。



数値の減少だけでなく、困っている生徒が一人もいなくなることを目指して、教育相談や普段の声かけなどで今後も状況を把握していきます。

(生徒指導専任教諭 高橋 塁)